

寅さん歩 その14

東京に こんなところ-9



平野 武宏

首都東京は徳川幕府の江戸から明治維新へ、そして関東大震災・太平洋戦争の被災で壊滅から復興、1964年（昭和39年）の東京オリンピックによる街並み・交通網の再整備と時代と共にその姿を変えています。そして2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、更に近代的な姿に生まれ変わろうとしています。

「寅さん歩」で東京を歩き回っている寅次郎は「東京にこんなところもあるのだ！」と思わせる場所に出会い、感動しています。新シリーズとして取り上げ、紹介します。都民暦約4年の「寅次郎基準」で選んでおりますので、ご容赦下さい。最寄り駅は代表例です。

～自由が丘に海軍村がありました～

[海軍村跡]

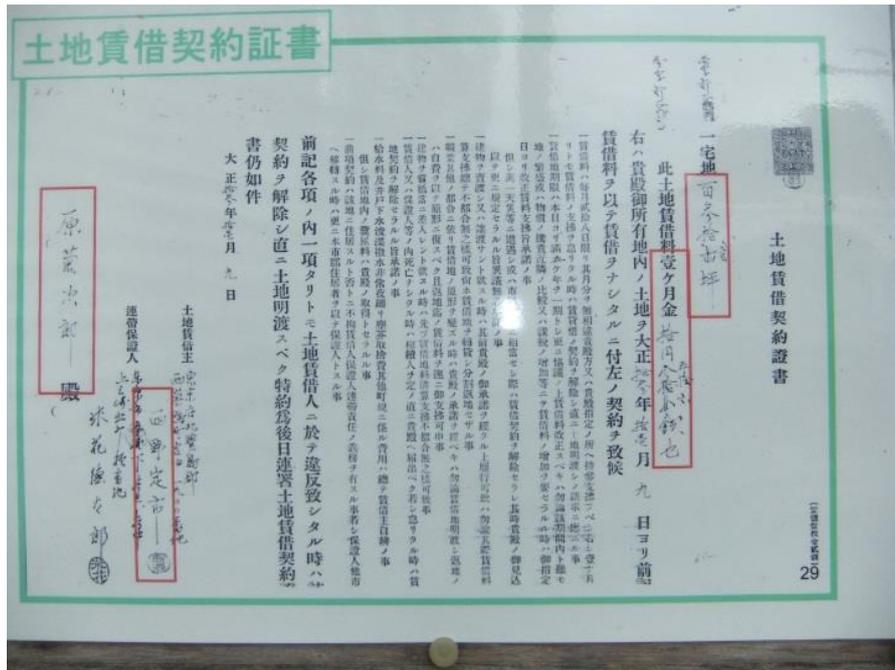
世田谷区奥沢2丁目周辺

最寄り駅 東急東横線 自由が丘駅

ウォーキング例会で通り過ぎ、その存在を知りました。後日、再度訪れて、ゆっくりと見ました。

おしゃれな街 自由が丘駅南口から緑道に出て、左折、奥沢二丁目公園を右折して、最初の道を左折した一帯が海軍村跡です。





今では周辺はすっかり新しい住宅に変わりましたが、解説
 掲示板には昔の面影が残る2軒の写真が掲示されていま
 した。当時流行であった棕櫚の木が生える庭と赤い屋根の
 家です。



次回は 東京に こんなところ-10 です。

平野 寅次郎 拝